



コロナで大変 写真でお花見を楽しんで！（春日川沿いの桜と加茂駅の花もも）

さかわ

Sakawa

82

2020.5.1

議会だより

発行 高知県佐川町議会

3 月定例会

contents

目次

R2 年度大型一般会計予算決まる 2

JR 客車収容施設新設 4

一般質問

新型コロナウイルス感染対策は 13

人工透析 治療機会増やせ 16



虚空蔵山つつじ園

令和2年度 一般会計予算

77億7,819万円

役場庁舎・文化センター大規模改修

100年使える建物に

賛成多数で 可決

3月定例会は、3月6日から13日までの会期で開かれました。

令和2年度一般会計予算をはじめ令和元年度補正予算、条例の制定や改正などが上程され、議案41件・意見書1件・町議会委員会条例改正1件を審議し意見書1件を除き、賛成全員及び賛成多数で可決しました。

一般質問には8人の議員が登壇し、町政全般について、活発な論戦を展開しました。



議場でもマスク

令和2年度の一般会計予算は約77億7千8百万円余り、前年度に比べて約9億9千万円の増となっており、前年度からの増加率は14・6%となっています。

増額の要因は、防災行政無線の更新・役場庁舎及び総合文化センターの非構造部材等の耐震化を実施する費用を計上したことによるものです。

歳入 入るお金

令和2年度の自主財源（町民自身が税金等で負担するお金）は約19億9千万円。主な収入となる住民税や固定資産税などの町税が昨年より3.7%増の約11億3千万円。

歳出に対して、足りない額を補うため、財政町政基金（貯金）から1億3千万円を繰り入れていきます。

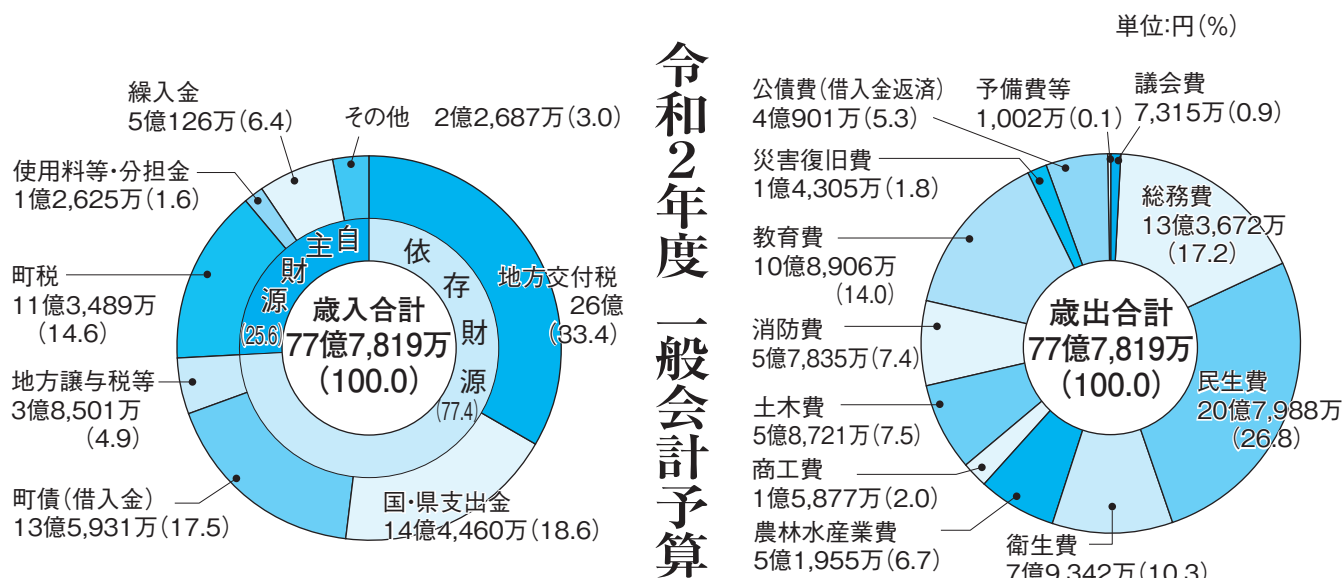
国や県からくるお金のうち主たる地方交付税は2.3%増の約26億円となります。

歳出 出るお金

人件費は会計年度任用職員制度導入に伴い、昨年より23%増の約12億8千万円。投資的経費は103・3%増の19億2千万円となっています。

令和2年度予算

総額 133億9,947万円



令和2年度各会計の当初予算

(単位:円)

会 計 名		本年度予算総額	前年度予算総額	比較増減
一 般 会 計		77億7,819万	67億8,766万	9億9,053万
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	19億6,227万	19億3,505万	2,722万
	学 校 給 食	5,966万	6,081万	△115万
	農 業 集 落 排 水 事 業	3,563万	2,885万	678万
	介 護 保 険	18億5,912万	18億3,130万	2,782万
	後 期 高 齢 者 医 療	2億3,226万	2億3,705万	△479万
	病 院 事 業	20億570万	21億4,472万	△1億3,902万
水 道 事 業		3億3,340万	3億3,342万	△2万
総 計		142億6,623万	133億5,886万	9億737万
重 複 額		8億6,676万	8億6,106万	570万
全 会 計 純 計		133億9,947万	124億9,780万	9億167万

※水道事業および病院事業会計の予算額は(収益的支出額+資本的支出額)を計上

令和 2 年度予算

この事業に議会が注目

3月定例会において、令和2年度当初予算の中から、議会が注目する事業を紹介します。

庁舎屋上の無線設備



耐用年数により、故障等が多くなってきた防災行政無線施設を更新する。

防災行政無線

更新事業

1億9,291万円

役場庁舎の非構造部材の耐震化を図るための工事を実施する。

役場庁舎非構造部材等

耐震改修事業

2億5,963万円



上町地区の周辺整備及び観光拠点づくりのため、J R 客車収容施設を新設する。

歴史まちづくり

整備事業事業

8,066万円

J R 客車建設予想図



大奈路集落

文化センターの非構造部材等耐震化を図り、老朽化した部分の大規模改修工事を実施する。

文化センター非構造部材等耐震

改修及び大規模改修事業

3億9,000万円

飲料水供給施設の長寿命化計画の作成、庄田大奈路集落に施設を整備する。

飲料水供給施設

整備事業

4,771万円

佐川町課設置条例の一部改正

産業建設課を「産業振興課」と「建設課」に二分すること及び国土調査課を廃止し、業務を建設課に引き継ぐこと等、課分掌事務の見直し等の機構改革を行うため、条例の一部を改正する。



佐川町消防団員任免に関する条例の一部改正

消防団員の任免に要する要件を改め、団員を確保するため、条例の一部を改正する。



第2期佐川町子ども・子育て支援事業計画の策定

将来の佐川町を担ってくれる子どもたちを一人となり育み、明るい未来をひらける幸せなまちづくりを目指す。佐川町が進めていく子育てに関する施策の方向性・目標等を定め、これまでの施策をさらに推進・発展させるため計画を策定する。

指定管理者の指定

管理を委託する施設	管理を行う団体
健康センター和楽	東元町自治会
名教館	一般社団法人 さかわ観光協会
佐川文庫庫舎	一般社団法人 さかわ観光協会

令和元年度3月補正予算

(単位:円)

会計名	補正額	補正後の額
一般会計	△2億1,328万	70億896万
特別会計	国民健康保険事業	△1,509万 19億3,045万
	農業集落排水事業	△59万 2,826万
	介護保険事業	△1億5,378万 17億2,332万
	後期高齢者医療事業	△286万 2億3,818万
	病院事業	△300万 21億4,172万
水道事業	△1,832万	3億1,643万

3月 補正予算 ピックアップ

基盤整備事業

3700万円

中山間地域所得向上
支援事業に係る増額。

基金積立金事業

3500万円

ふるさと寄附金収入
見込額の増に伴う積立
金の増額。

GIGAスクール 構想事業

4560万円

「GIGAスクール構
想の実現」に向け児童
生徒に1人1台の端末
(令和2年度は、小学
校5年・中学校3年) 整
備に係る増額。



補正予算 質疑

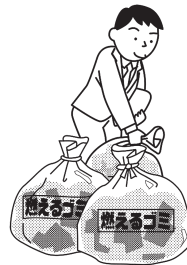
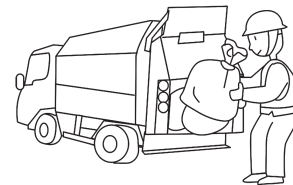
ごみ収集

西森議員 ごみ収集委託料は今年の予算はガソリン代や人件費の高騰に伴い、200万円アップし、4千152万円との説明であつたが、なぜ931万円もの多額の不用額が出たのか。ガソリン代や人件費にしても、業者からは悲鳴の声も聞こえるが最低制限価格はどうなっているのか。

町長 ここ数年同じ基準で入札しているが、この基準でもすべての業者が応札しており、特に問題はないと考えている。

町民課長 最低制限価格は75%で設定しているが、中にはこれを下回る

見積りを出す業者もいるので、業務を行う必要な経費は確保されているものと思つている。



プレミアム付商品券

西森議員 プレミアム付商品券事業で3千552万円の不用額が出ているが、これは消費税の増税対策として低所得者や子ども世帯に限定して発売されたものだが、なぜ予算の半分位もの不用額が出たのか。これは事務レベルでの連絡調整などの問題があつたのではないか。

産業建設課長

商品券購入

入を申請した人は対象者の49%と大変少なかったが、この理由の1つとしては手続きが煩わしかったり購入費が工面できなかったのではないかと考えている。

町長 業者分担については、各課が業務をしつかり把握して連携できるように改善する。



商工会



佐川町商工会

西森議員 商工会への補助金が144万円不用となっているが、なぜか。

産業建設課長 これは街路灯のリース等に対する補助金であるが、設置基数と設置時期の見直しがあり、減額となった。

ここを 聞いてみた

議案質疑

提出議案に対して、各議員から出された質問の主なものを紹介します。

一般会計

小学校プール監視

森議員 小学校の夏休み中のプールの監視業務委託料が組まれているが、どの学校か。責任の主体はどこか。

教育長 開放する学校は、佐川、斗賀野、尾川、黒岩で委託料は約60万円。最終責任は教育委員会が持つ。



斗賀野小学校プール

会計年度任用職員

坂本議員 来年度から会計年度任用職員制度が始まる。この制度には退職手当や期末手当など国の負担もあると聞いているが、町の支出はどの位減るのか。また町の臨時職員はほとんどがパート扱いになるが仕事に支障はないか。雇用は確保できるか。

総務課長 国の予算としては1千690億円が確保されているが、この配分については、まだ決まっていないので現在のところ全て町費で計上している。具体的に決まっていることは特別交付税で地域おこし協力隊や集落支援員に上積みされることとなる。またパートタイムに移行する職員は46%であるが、必要と判断された職に対して、適切な任用を設定している。

役場トイレ

坂本議員 役場庁舎の大規模改修が計画されているが、2階と3階のトイレも男女別にできないか。

町長 物理的に難しいのではないかと思っているが、なお、もう一度検討する。



ふるさと納税

中村議員 ふるさと納税に関する予算が昨年より1.5倍増え1億8千万円になっているが、その要因は何か。

総務課長 寄附額が増えたのは、返礼品の品を充実したこと、制度が厳格化され特定の自治体に集中することなく分散したためと考えている。

ふるさと教育、加茂は

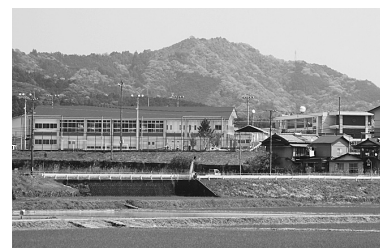
下川議員 佐川ふるさと教育の教材作成作業にあたり、加茂の教育委員会とはどのように連携をとっているのか。

教育長 さかわ未来学の取り組みに当たり、加茂の教育委員会にもたびたび出向き、意見を聞くとともに、加茂の子どもたちにも使ってもらえるよう配慮している。



ふるさと納税返礼品

おもちゃ美術館



加茂小中学校

西森議員 おもちゃ美術館構想委託料として660万円計上されているが、これは新聞で報道されはじめて知った事業。東京のNPO法人に委託することであるが、こんな高額な委託料はいわゆる東京価格ではないか。何を委託するのか。またこれはほんの着手金で来年度からはもっとたくさん委託料が発生するのではないか。

町長 基本構想の委託料であるが、令和3年度は設計とおもちゃ購入費なども含め1億円近くになる。道の駅と一体として地産外商の拠点として進める。

シティプロモーション事業

大型予算に優先順位を

西森議員 シティプロモーション事業の委託費に800万円計上されている。昨年は200万円であったが、その時の説明によると令和2年度には終了することとであったが、何をするため、なぜ4倍にもなったのか。

チーム佐川推進課長 3年間の事業であり、今年は今までの2年間実施してきたふるさと学を取り組みの動画をプロポーザル方式によって作成するためである。

西森議員 役場庁舎と文化センター及び防災行政

無線のこの大型3事業で13億円を超える借金事業が計上されているがなぜ優先順位をつけて実施しないのか。

町長 これらの事業については、有利な起債制度(借金)が令和2年度で終了するので同時に着手する判断をした。

地域おこし協力隊

橋元議員 地域おこし協力隊は本年度から会計年度任用職員となるが、財源措置はどくなっているのか。

チーム佐川推進課長 1人につき人件費240万円と活動費200万円で合計440万円。国の特別交付税措置があり、24名分を計上している。



防災無線

橋元議員 防災行政無線システム1億9千万円が組まれているが、具体的には何か。

総務課長 現在と同じシステムを採用する。今年の計画は役場にある親局と虚空蔵山の中継局の防災機器の更新をするほかスマホで情報が得られるアプリを導入する。

令和2年3月定例会

修正動議

【西森議員】

《一般会計予算修正動議(要旨)》

提出者 西森勝仁
賛同者 宮崎智恵子

本年度予算も屋上屋を重ね、昨年と比べ14%も増加し、すでに身の丈を超えている。委託料にしても10億6千万を超えたが、中でも突然降って湧いたような役場庁舎と文化センターのいわゆるリニューアル工事及び防災行政無線の3事業だけでも13億円を超える借金事業が計上されている。

庁舎も文化センターも既に耐震工事は完了している、これらの大型

事業は計画的に優先順位をつけるべきで、文化センターの工事は後年度に実施すべきと考える。

このため文化センターの大規模改修工事約3億8千万円に係る事業費の歳入・歳出それぞれを削除する修正案を提出する。

採決の結果

2対11で否決

各議員の意思表明

賛否表(令和2年3月定例会) ○:賛成 ●:反対 -:議長 欠:欠席

	橋元陽一	宮崎知恵子	西森勝仁	下川芳樹	坂本玲子	邑田昌平	森正彦	片岡勝一	松浦隆起	岡村統正	中村卓司	永田耕朗	西村清勇	藤原健祐
令和元年度佐川町一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
令和元年度佐川町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
令和元年度佐川町農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
令和元年度佐川町介護保険特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
令和元年度佐川町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
令和元年度佐川町水道事業特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
令和元年度佐川町病院事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
令和2年度佐川町一般会計予算	○	●	●	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
令和2年度佐川町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
令和2年度佐川町学校給食特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
令和2年度佐川町農業集落排水事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
令和2年度佐川町介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
令和2年度佐川町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
令和2年度佐川町水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
令和2年度佐川町病院事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
佐川町課設置条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
佐川町長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
職員の服務の宣誓に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
佐川町行政不服審査条例の廃止について	○	○	●	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
佐川町固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
佐川町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
佐川町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
特別職の職員の給与及び報酬並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
佐川町議会議員の議員報酬及び期末手当並びに費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
佐川町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
地方自治法等の一部を改正する法律による地方自治法の条項ずれに伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
佐川町消防団員任免に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
さかわ発明ラボの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
佐川町印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
債権の放棄について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
佐川町立老人憩いの家設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
第2期佐川町子ども・子育て支援事業計画の策定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
佐川町病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
健康センター和楽の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
名教館の指定管理車の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
佐川文庫庫舎の指定管理の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
佐川町と高知県との間の行政不服審査法第81条第1項の機関の事務の委託に関する規約制定の協議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
高知県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び高知県市町村総合事務組合規約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
高知県市町村総合事務組合から芸東衛生組合が脱退することに伴う財産処分について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
高知県市町村総合事務組合から高幡西部特別養護老人ホーム組合が脱退することに伴う財産処分について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
「桜を見る会」徹底究明を求める意見書	○	●	●	○	○	●	○	●	●	-	○	●	●	●
佐川町議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	●	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○

SNSの活用

結論、どうなった

チーム佐川推進課長

7月を目途に進める

松浦 隆起
議員



8人が町政を問う

ここが聞きたい

SNSの活用として、今までツイッター、フェイスブックの取り組みと、ラインを使い、町民の方から、様々な情報を送ってもらい、担当課が対応する取り組みについて提案してきた。検討するとのことだったが結論は。

また、防災拠点となる庁舎やかわけせみなどに、WiFiを整備するべきだ。

岡崎チーム佐川推進課長 今年の7月を目途に、ラインというSNSを活用し、情報発信の仕組みを作るとい話を進めている。ツイッターの利点も含めて、しっかり検討したい。

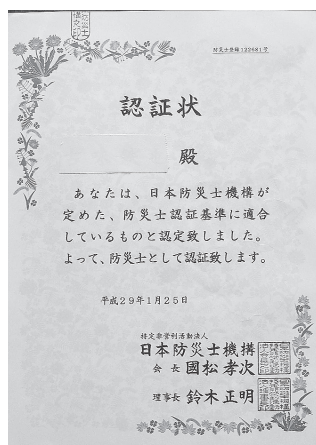
麻田総務課長 7月からのラインの運用に合わせて、情報を送ってもらう取り組みもして行く。

堀見町長 役場本庁舎、文化センター、かわせみは拠点避難場所であり、WiFiの環境整備を前向きに考えたい。

防災士の資格取得

助成を行うべきだ

町長 町としては考えていない



あなたも防災士に！

地域の防災リーダーを育てることは防災減災につながる。防災リーダーの育成を目的に、本町においても、防災士育成講座の開催と、防災育成講習の受講、資格取得に対する助成を行うべきだ。

堀見町長 町主催の講座については、自主防災組織連絡協議会の声も聞きながら進めていきたい。防災士取得にかかる補助金は、町としては考えていない。

高齢者や障害のある方の自宅へ伺い個別に収集する、ごみ出し支援、ごみ集積所の設置基準、集積所の修繕に対しての補助金制度の3点について、昨年6月に質問し、町長から「来年度スタート時に、決めた内容でスタート切れるよう結論を出したい」と答弁を頂いていたが、結論に至っていない。

早くに事業をスタートさせるべきだ。

堀見町長 スピード感がなく、執行部の取り組みに関して、本当に申し訳ない。改めて、担当課、担当課長と話をし、速やかに検討した内容を住民の皆さんにお伝えできるよう、しっかり検討を進めていきたい。

町長 速やかに検討する

ごみ出し支援 早急にスタートを



遠くまでごみ出し大変！



西森 勝仁 議員

今年の予算も、屋上屋を重ね、もう佐川町の標準財政規模の2倍近くの77億円にもなっている。このおもな要因は、突然予算化された役場庁舎と文化センターの天井や壁、トイレなどのリニューアル工事と防災行政無線の3事業で13億円。

13億円の借金事業 計画的に実施を

町長 財政状況判断し同時に実施



国土調査 29年間ごくろう様！

これらの事業費は全て起債（借金）で、このうち30%は後年度に住民につけがまわってくる仕組みである。役場庁舎も文化センターも耐震工事はすでに完了している。なぜ、優先順位をつけて計画的にやらないのか。堀見町長 緊急防災対策にかかる国の起債制度が令和2年度で終了する。このため庁舎と文化センターの天井や壁の耐震とトイレの改修のほか、防災行政無線工事を行う。今の財政状況から判断して、同時に実施することとした。

感無量の国土調査完了 懸案事項は

国土調査課長 登記が残る

まず、私も関わり、また橋掛課長が定年を迎える節目の年に平成3年に始まったこの事業が完了することに、感無量の思いがする。

この29年間で調査した筆数と面積、総事業費、及び筆界未定地となっている土地の筆数と面積はどの位あるのか。また今後懸案事項として残るものがあるか。橋掛国土調査課長 調査した総筆数は7万2千453筆、調査面積は97.3平方キロメートル、総事業量は22億6千万で、このうち4分の3が国と県の補助金、町費は4分の1で約5億6千万である。また懸案事項としては物件変動後の所有権移転登記の処理が残る。

町主導で 吹奏楽団結成を

町長 考えていない

大正から昭和にかけて活躍した佐川町出身の音楽家は多い。まず、西谷生まれで佐川小中学校の校歌の作曲者でもあり、東洋音大で教鞭をとった外山国彦。大正から昭和にかけて日本の第一線で活躍する声楽家で外山国彦の息のかからぬ者はいないと言われたほど。その教え子で四ツ白出身のオペラ歌手、下八川圭佑や「緑の地平線」を歌い、空前のヒット曲を飛ばした西町出身の楠木繁夫などがある。こうし



吹奏楽部定期演奏会（佐川中学校）

たこともさることながら、佐川中学校吹奏楽部も長い歴史と伝統を誇る。そして今や校座も整備され、指導者も育ち、条件面ではまさに機は熟したと思うが、町民吹奏楽団の結成はできないのか。堀見町長 町主導での吹奏楽団結成は考えていない。濱田教育長 町民有志が結成すれば支援はする。その他の質問 企業版ふるさと納税について

農業は就労年齢が高くなり、危機的な状況にある。ほ場整備を進め作りやすい農地にしていくことが必要だ。また新規就農者を育成していくことで、農業で安定的な収入が得られるようにしていくことも大切ではないか。

耕作しやすい農地にするため ほ場整備推進を

産業建設課長

進めていく

坂本 玲子 議員



ほ場整備で農業を守って！

田村産業建設課長 農業は佐川町の重要な基幹産業だ。また農村景観、災害防止など多面的な機能もある。ほ場整備は面積要件が緩和され、自己負担額も不要となつている。県と連携して事業を進めたい。新規就農者はここ5年間で28名。今後この事業を進めていく。収入の安定は重要だ。佐川茶やイチゴのブランド化を進める。また計画中の道の駅を活用し、取り組みを強化していきたい。

何とかして 河川の葦

産業建設課長 浚渫進めていきたい

町内の河川は葦が増え何とかして欲しいと住民の声がある。また昨年の台風では全国でたくさんの堤防が決壊し大きな被害を出した。佐川町でも放置すると災害が起こる

ぐるぐるバス デマンド方式に

チーム佐川推進課長 見直しの計画なし

可能性はある。町内には町管理の河川と県管理の河川がある。町管理の河川の浚渫を進める必要がある。また県管理の河川に対しても県への働きかけを行い、早急に実施を。田村産業建設課長 町管理河川の浚渫は必要だと考えており今後も進めていきたい。県管理の河川では本年度、春日川の浚渫が行われた。今後も浚渫が実施されるよう県に働きかけていきたい。

ぐるぐるバスが運行開始から2年が過ぎた。利用実態はどうか。1年間であつたかの送迎利用数は5千460回、バス利用数はあつたかのある4地区では想定4千426回だ。住民の方はデマンド型が使いやすいと思つているのではないか。デマンド型に変更することを検討してはどうか。

岡崎チーム佐川推進課長 バス利用者は最初の1年では1便あたり15人だったが、2年目は23人と増加している。デマンド型を取り入れて欲しいという声があることは承知している。現時点では見直しの計画はない。地域公共交通の会議がある。その中で意見等があれば検討していく。



川の流れをスムーズに！

浚渫（しゅんせつ）とは川底をさらって、土砂などを取り除くこと



橋元 陽一 議員

首相の突然の法的根拠のない全国小中学校などへの一斉休校要請で、佐川町の町民への対応は。休校措置で、町内の給食センターや学校の臨時職員の方々が解雇されるケースが起きていないのか。

田村健康福祉課長 厚労省通知を記載したチラシを3月広報に折り込み、公共施設入り口などに掲示。
電話相談があつた場合は、県相談センターを紹介している。
片岡教育次長 給食センターの臨時職員は保育所の給食支援へ配置した。
濱田教育長 学校の臨時職員は、教員とともに児童クラブや子ども教室での受入れ支援に配置。仕事が終わることはない。

新型コロナウイルス 感染対策は

健康福祉課長 県相談センターを紹介



みんなの力で感染予防！

産廃の地域振興策

参加した住民は

町民課長 加茂地域の14%の世帯

約100項目の振興策事業要望書を町がまとめる作業のために、参加した住民は。特異的な地形もつ下川流域の長竹川の抜本的

若い町職員の退職の背景

総務課長 特定できない

な河川改修について県の具体的な説明は。上限がある予算で実施する事業の優先順位を決める基準は。
和町民課長 参加世帯数は長竹33%、加茂の里6%など全体として14%の参加。
日下川の流下能力とのバランスを考慮検討し、次回の地元説明会で示し、意見を聞き、決定すると聞いている。
堀見町長 県が日高工コを基準に振興策の金額を決める。今優先順位をつけて判断することは考えてない。今できることを調査検討して判断する必要がある。

若い町職員が中途退職する背景と対策は。人事評価制度の目的は何か。賃金へのリンクは。麻田総務課長 退職の背景は特定できない。対策としてOJT（現場訓練）を周知し、経年数に応じた業務量の調整とフォロー、上司・部下・同僚とのコミュニケーションが重要と考える。

賃金へのリンクは評価を5ランクに区分し、定期昇級でA8号級、B6号級、C4号級（通常）、D2号級、E昇給なし。勤勉手当は別算定。
その他の質問
18歳までの医療費無料化と国保の子ども均等割の軽減について



地域振興策で安全対策が進む R33！

令和2年度の予算は77億7千800万円の大型予算が組まれているが、その理由と内容は。また町債が12億3千万円組まれているが財政の見通しはどうか。

令和2年度

大型予算の理由は

町長

3つの大規模事業

森 正彦 議員



堀見町長 令和2年度の予算が大型となった理由は、役場庁舎と文化センターの非構造部材の耐震化と大規模改修、またあわせて防災行政無線のデジタル化に向けての改修があり、この3つの大きな事業が大規模な予算を組むことになった理由だ。本庁舎改修の内容は、今後50年使用していくための天井、ガラス面等の非構造部材の耐震化で、災害対策本部として機能させていくために必要な工事であり、あわせて空調施設の更新や使い易いトイレへの改修も行う。

中澤副町長 財政については来年度以降、道の駅や新図書館、文化施設の大規模投資が計画されている。今後の財政シミュレーションしてみた結果、実質公債費比率がここ数年大きく下がっているの、投資をしても十分耐えられるだけの見通しを持っている。



100年使える文化センターに！

教育研究所が設置されて約2年が経過した。取り組みと成果を聞く。

教育研究所

取り組みと成果は

教育長 有効な手法を試行

濱田教育長 佐川町の教育課題である、ふるさと教育、不登校、学力向上の3つの課題解決を目的とし、教育施策の企画、立案、進行管理、調査、研究、教職員研修、児童、生徒、保護者への支援をおこなってきた。成果としては課題を特定し有効な手段を試行している段階だ。

不登校

現状と対策は

教育長 対策をしっかりと

本町の不登校の現状と原因は。そしてどのような対策を講じているか。

濱田教育長 不登校の原因としては、社会の変化の下で家庭の教育力の問題、子どもたちの発達上

の課題、学級経営や授業など学校の取り組みが子どもたちの変化に対応しきれていないことなどがあげられている。

当面の対策としては特別支援教育支援員の配置、臨床心理士やスクールカウンセラー等による相談体制の充実をし、学校との連携を強化しながら支援していく。

根本対策としては、ふるさと教育の推進とあわせて専門家の知見も活用しながら学校の組織力を向上させる。子どもに合った対応をしっかりと。



しっかりと子どもの居場所づくりを！



中村 卓司 議員

多くの町民に議会を傍聴していただきたいと防災無線での案内や庁舎内での議会内放送また議会広報での議会報告を行ってきた。しかし、まだまだ開かれた議会としては十分とはいえない。

議会の

ネット配信を

町長 議会の意思尊重



明るく照らせ通学路！

そこで他町でも実施しているネットでの議会配信を実施してはと考えるが、予算を伴うものであるので、町の考え方を聞く。

堀見町長 議会の皆さん

がどういう考えがあるのかが一番大切だ。議会としてネット配信をしたいという結論になれば執行部としては予算が必要であれば当然検討していく。

県議会でもネット配信されている。今の時代にあったやり方だと考える。

通学路に

防犯灯を

総務課長 前向きに検討

全国で子どもたちが犯罪に巻き込まれる事例が増えている。特に中桐の踏切、春日川沿いの通学路に防犯灯がないので暗

く危ない。町として実施する計画はあるのか。
麻田総務課長 春日川沿いの防犯灯設置には自治会やPTAから要望があった。
町通学路安全対策連絡協議会で決定されれば、総務課で前向きに検討する。

スポーツ少年団への

支援は

教育次長 関係者と協議

町内で多くのスポーツ少年団が活躍している。その中で少年野球チームが練習している小学校では照明不足で苦労しており、照明の増設が必要であると思う。教育委員会はどう考えるか。

片岡教育次長 今の照明だけでは、暗いと考えている。今後は要望があった場合、使用頻度、必要性、設置の費用等について、佐川小学校、少年野球チームとも十分に協議をしよう。

濱田教育長 一生懸命検討していく。



ちょっと暗い佐川小学校の手づくり照明！

JR土佐加茂駅のトイレが現在使用できない。駅周辺の住民より、トイレを借りに来る観光客がいるとの声も聞く。

佐川町内にある駅でトイレがないのは、襟野々駅を除き土佐加茂駅だけだ。佐川の玄関口である

佐川の玄関口 加茂駅にトイレを

チーム佐川推進課長

振興策で加茂の里へ

下川 芳樹 議員



土佐加茂駅にトイレを設置するよう要望する。

岡崎チーム佐川推進課長 2年ほど前JR四国の方針として、経費節減のため無人駅のトイレは閉鎖し、各列車にトイレを設備することになった。JR側への要望は、これまでの経緯から困難であると町は考えている。

対応として産廃関係の地域振興策で検討している、加茂の里で外から使えるトイレを設備することを住民と話し合いたい。

人工透析

治療機会増やせ

病院事務局長

増やしていく

人工透析治療に関して、高北病院での治療機会を増やしてほしいとの声が上がっている。特に、仕事をしている患者にとつて治療機会が増えることで、仕事との調整がスムーズとなり仕事を続けることができる。こうした町民の声にこたえてほしい。

渡辺病院事務局長 現在、当院の人工透析実施体制は月、水、金曜日に

行つグループと火、木、土曜日に行つグループの2グループ体制で、午前9時から10時30分の間に治療を開始し、午後1時30分から3時の間に治療を終了するワンクール体制で行っている。

6月からは新たに、月水、金曜日グループに午後2時から3時の間に治療を開始する第2クールを実施するよう考える。



加茂駅舎のトイレが使えない！

産廃

今後の計画内容は

町民課長

地元説明会を4月か5月に

産廃、今後の計画内容は、また、町が行つ振興策の取りまとめ状況は、和町町民課長 県が行つ第3回地元説明会の開催は4月から5月と聞いた。施設建設の可否の要素である地質調査の結果を見極めたく、町説明会は県の説明会開催以降に行つ予定。振興策の要望件数は、まだカウントできていない。事業費についても示せる状態ではない。



人工透析 治療は大変！



宮崎 知恵子 議員

困難を抱える若者、高齢者の長期の孤立状況が心身に悪影響をもたらしている。
現状と支援の相談窓口、また件数は年間どれくらいか。

引きこもりの 現状と支援は

健康福祉課長 チームで対応

田村健康福祉課長 相談窓口は障害支援係で専門職1名で、医療機関、社協、保健所等、協力を得ながら対応している。完結するケースは少ない。機関の役割を発揮し、チームで対応している。
件数は平成29年15人、平成30年度45人、情報の収集は小学校から直接、中央西福祉保健所、医療機関、子どもあゆむ会、佐川地域支援ネットワーク主催で開催している。

官製婚活

取り組みは

チーム佐川推進課長 基本的には民間で

官製婚活支援は県内34市町村のうち23市町村で行われている。

若い世代の結婚、妊娠、出産、子育ての希望を叶える取り組みについて課題が残る結果であるという町長の行政報告があった。
佐川町の婚活サポーター養成や婚活支援の取り組みはどうか。
岡崎チーム佐川推進課長 婚活支援については基本的には民間が行うものを支援していくことを基本にしたい。企画の段階から内容、募集広報PR活動を一緒にしていきたい。



婚活サポーター講座！

婚活サポーターの研修については、退職世代を中心に様々な団体ボランティアの方々がいるので声をかけ、県のサポーターの講座研修を役場が開催するとかいってやっていきたい。
田村健康福祉課長 来年度は高知で恋しよ会員登録入会料1回限り1万円補助をする予算を計上している。

牧野弁当

再現してはどう

チーム佐川推進課長 検討する

進んでいる。ぜひ富太郎が食べたであろう昔の食、牧野弁当を食改さん、佐川高校生などで再現してほしい。
岡崎チーム佐川推進課長 生誕160年事業を来年度立ち上げる。牧野野菜などの取り組みは食改さん、佐川高校生も含め検討する。

その他の質問
コロナウィルス対応について

世界的な植物学者である牧野富太郎の生涯を朝ドラでという署名活動が



佐川の宝 牧野富太郎！

本年度の議会懇談会は 中止いたします

平素は、佐川町議会に対しましてご理解・ご協力を賜りありがとうございます。

さて、この度、日本全国で新型コロナウイルスの感染拡大が止まらない状況の中、高知県内におきましても感染が拡大している状況です。

こうした状況から、5月に開催を予定していました本年度の議会懇談会は、感染拡大防止のため中止することといたしました。

ご参加予定の皆様には、誠に申し訳ございません。ご理解いただきますよう、お願い申し上げます。



昨年度の議会懇談会！

【議会事務局・職員紹介】

『よろしく願います』



議会事務局長 片岡 雄司

みなさん、こんにちは。

私は、令和2年4月1日付けの人事異動により、議会事務局に配属となりました片岡雄司です。

平成元年、佐川町役場に奉職以来、産業経済課・地域振興対策室・建設課・国土調査課・総務課・チーム佐川推進課・教育委員会などの業務に携わってきました。議会事務局の仕事は初めてで、不安もあり、微力ではございますが、議会という重要な機関の事務局として、ご指導ご協力を賜り、円滑な議会活動の補助に努めてまいります。どうぞ、よろしく願います。



街路灯の 耐震化・LED化を

老朽化した現在の街路灯を災害発生時に備えるとともに、維持管理軽減のため、耐震化・LED化を
(永田議員)

産業建設課長・町長 答 弁

平成 31 年度に完了

佐川町商工会が主体となって、商店街の街路灯 165 基の LED 化を実施。町がレンタル料の 1/2 補助。

どう
なった

前向きに取り組む

有利な補助事業などについて情報収集し、早期の街路灯整備に向け前向きに取り組んでいく。

あの質問のゆくえ

No.52

あなたが選んだ議員の
仕事ぶりを見にきませんか？

次の定例会は 6 月 5 日 (金) 午前 9 時
開会予定です。傍聴においでください。

議会広報編集委員会

委員長 下川 芳樹
副委員長 西森 勝仁
委員 坂本 玲子
委員 宮崎知恵子
委員 橋元 陽一
※わかりやすい紙面に心がけています。
読後のご感想、ご意見をお寄せください。

下川 芳樹

議会の情報を町民の皆さんに伝える議会だよりだが、新たな情報発信の方法を、みんなで考えなければならぬ時代がきているように思われる。

これからは人が集まることなく勉強や仕事、会議などができる情報ネットワークの構築が急がれる。

議会の情報を町民の皆さんに伝える議会だよりだが、新たな情報発信の方法を、みんなで考えなければならぬ時代がきているように思われる。

編集後記

新型コロナウイルスの猛威が、世界中に広がっている。

日本でも不要不急の外出や、3つの密が発生する環境を避けるように、国や地方自治体が呼びかけている。

3月から4月にかけて、卒業式や入学式、就職や転勤など新年度に向けての節目となる行事も、縮小や中止となった。こんな時代が来ることを誰が予測できたであろう。何が起きてもおかしくない時代を体験する私たちは、事前の準備をしっかりと行う大切さを思い知らされた。

これから人が集まることなく勉強や仕事、会議などができる情報ネットワークの構築が急がれる。

議会の情報を町民の皆さんに伝える議会だよりだが、新たな情報発信の方法を、みんなで考えなければならぬ時代がきているように思われる。

議会の情報を町民の皆さんに伝える議会だよりだが、新たな情報発信の方法を、みんなで考えなければならぬ時代がきているように思われる。

地域で がんばる

今回は、あつたかふれあいセンター夢まちの立ち上げに奮闘されたNPO法人さかわ夢まち協議会の田村幸生さん、吉村典宏さんにお話を伺いました。

あつたかふれあいセンター 夢まち

「佐川地区にもあつたかが出来て良かったですね。」

本当にとてもうれしいです。この3年間多くの方々がボランティアとして関わってくれました。その地道な協力とご支援が「あつたか開所」につながったのだと思います。



NPO法人さかわ夢まち協議会の皆さん！



「どうしてあつたかを作りたいと思ったのですか。」

佐川地区は、人数は多いですが、地域の過疎化やつながりの薄さ、高齢化の課題があります。町の人たちがひとりぼっちで困ることがないように、みんなで支え合える集える場所が欲しかったです。

「この3年間はどういう活動をされていましたか。」

毎日開所して、集いとなる百歳体操や健康講座、喫茶やレクレーション、バザーや野菜作り、味噌やキムチづくり、いろんなことをして多くの人がつながるようにしてきました。



会話がはずむ よりあい会！

お待ち
しています！



あつたかスタッフの皆さん！

「出来るまでにはどんな苦労がありましたか。」

NPO法人にするためにたくさんの方の書類が必要でした。慣れない仕事で本当に苦労しました。

「これからどんなあつたかにしていきたいですか。」

これから3名のあつたかスタッフが集い・交わる・学ぶ・送る・生活支援などを行います。あつたかスタッフだけでなくボランティアの方々も共に協力して、住民のみなさんが「佐川に住んで良かった」と感じられる町を作っていきたいです。みなさん、「あつたかふれあいセンター夢まち」へ来てくださいね。



あなたの周りに佐川の町の元氣のために活躍されている「組織やグループ」をぜひ紹介してください。